

# 東北農林専門職大学附属農林大学校

## 令和6年度林業経営学科の教育計画

林業経営学科分のみ抜粋

### 1. 総履修時間及び単位数

科目	1 学年		2 学年		計	
	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数
①一般教養科目	112	7	80	5	192	12
②農林業専門共通科目	280	16	352	22	632	38
③専攻科目	872	32	744	24	1,616	56
必修科目合計	1,264	55	1,176	51	2,440	106
④専門科目（自由選択科目）	0～80	0～5	0～56	0～2	0～136	0～7
履修科目合計	1,264～ 1,344	55～ 60	1,176～ 1,232	51～ 53	2,440～ 2,576	106～ 113

### 2. 履修科目及び時間・単位数

#### (1) 一般教養科目

##### 1 学年

凡例：●必修、○必修選択、□自由選択

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計画時限数		
													合計	前期	後期
教 0 1 1	教養	講義	社会と教養	1	●	●	●	●	●	●	●	2	32	16	16
教 0 1 2	教養	講義	英会話 I	1	●	●	●	●	●	●	●	1	16	0	16
教 0 1 3	教養	演習	体育 I	1	●	●	●	●	●	●	●	2	32	12	20
教 0 1 4	教養	講義	英語 I	1	○	○	○	○	○	○	○				
教 0 1 5	教養	講義	ビジネス基礎講座 I	1	○	○	○	○	○	○	○	2	32	8	24
教 0 1 6	教養	講義	就農講座 I	1	○	○	○	○	○	○	○				
												7	112	36	76

##### 2 学年

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計画時限数		
													合計	前期	後期
教 0 2 1	教養	講義	英会話 II	2	●	●	●	●	●	●	●	1	16	16	
教 0 2 2	教養	講義	暮らしと社会経済の動向	2	●	●	●	●	●	●	●	1	16	4	12
教 0 2 3	教養	演習	体育 II	2	●	●	●	●	●	●	●	2	32	12	20
教 0 2 4	教養	講義	英語 II	2	○	○	○	○	○	○	○				
教 0 2 5	教養	講義	ビジネス基礎講座 II	2	○	○	○	○	○	○	○	1	16	16	
教 0 2 6	教養	講義	就農講座 II	2	○	○	○	○	○	○	○				
												5	80	48	32

(2) 農林業専門共通科目

1 学年

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計画時限数		
													合計	前期	後期
共 0 1 1	共通	講義	経営管理と法人化	1	●	●	●	●	●	●	●	1	16	16	
共 0 1 2	共通	講義	農林業生産とSDGs	1	●	●	●	●	●	●	●	2	32	16	16
共 0 1 3	共通	講義	農業簿記と経営管理	1	●	●	●	●	●	●	●	2	32		32
共 0 1 4	共通	演習	スマート農林業 I	1	●	●	●	●	●	●	●	2	32	18	14
共 0 1 5	共通	講義	マーケティング基礎	1	●	●	●	●	●	●	●	2	32	16	16
共 0 1 6	共通	演習	卒業論文計画	1	●	●	●	●	●	●	●	5	80	8	72
共 0 1 7	共通	講義	特別講義 I (トップマネジメント講座)	1	●	●	●	●	●	●	●	1	16	8	8
共 0 1 8	共通	実習	地域協働研究	1	●	●	●	●	●	●	●	1	40	24	16
												16	280	106	174

凡例：●必修、○必修選択、□自由選択

1 学年 (自由選択科目)

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計画時限数		
													合計	前期	後期
共 0 1 8	共通	講義	応用英語 I	1	□	□	□	□	□	□	□	1	16	4	12
共 0 1 9	共通	講義	販売管理	1	□	□	□	□	□	□	□	2	32	32	
共 0 1 10	共通	講義	毒物・劇物資格講座	1	□	□	□	□	□	□	□	1	16	16	
共 0 1 11	共通	演習	情報発信とネットビジネス	1	□	□	□	□	□	□	□	1	16	16	
												5	80	68	12

2 学年

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計画時限数		
													合計	前期	後期
共 0 2 1	共通	講義	財務管理	2	●	●	●	●	●	●	●	2	32	20	12
共 0 2 2	共通	講義	海外農林業	2	●	●	●	●	●	●	●	1	16	16	
共 0 2 3	共通	演習	マーケティング実践	2	●	●	●	●	●	●	●	2	32	16	16
共 0 2 4	共通	講義	農林業への県民理解	2	●	●	●	●	●	●	●	1	16	6	10
共 0 2 5	共通	演習	卒業論文	2	●	●	●	●	●	●	●	15	240	24	216
共 0 2 6	共通	講義	特別講義 II (トップマネジメント講座)	2	●	●	●	●	●	●	●	1	16	8	8
												22	352	90	262

2 学年 (自由選択科目)

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計画時限数		
													合計	前期	後期
共 0 2 8	共通	講義	応用英語 II	2	□	□	□	□	□	□	□	1	16	16	
共 0 2 9	共通	実習	農業機械実習 II	2	□	□	□	□	□	□	□	1	40	40	
												2	56	56	0

### (3) 専攻科目

#### 林業経営学科（1 学年）

凡例：●必修、○必修選択、□自由選択

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計 画 時 限 数		
													合 計	前 期	後 期
専 7 1 1	専攻	講義	森林・林業概論	1							●	1	16	16	
専 7 1 2	専攻	講義	森林生態	1							●	1	16		16
専 7 1 3	専攻	講義	樹木	1							●	2	32	32	
専 7 1 4	専攻	講義	森林情報	1							●	1	16		16
専 7 1 5	専攻	講義	労働安全管理と救急救命	1							●	2	32	32	
専 7 1 6	専攻	講義	造林・育林 I	1							●	2	32	32	
専 7 1 7	専攻	講義	森林保護	1							●	1	16		16
専 7 1 8	専攻	講義	林業機械 I	1							●	2	32	32	
専 7 1 9	専攻	講義	森林計測	1							●	1	16	16	
専 7 1 10	専攻	講義	林産	1							●	2	32	16	16
専 7 1 11	専攻	講義	森林環境	1							●	2	32	16	16
専 7 1 12	専攻	実習	森林管理実習 I	1							●	11	440		440
専 7 1 13	専攻	実習	先進林業者等体験学習 I	1							●	4	160	80	80
												32	872	272	600

#### 林業経営学科（2 学年）

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	稲 作	果 樹	野 菜	花 き	畜 産	加 工	林 業	単 位	計 画 時 限 数		
													合 計	前 期	後 期
専 7 2 1	専攻	講義	森林政策	2							●	1	16		16
専 7 2 2	専攻	講義	森林機能保全	2							●	1	16		16
専 7 2 3	専攻	講義	森林経営	2							●	2	32	32	
専 7 2 4	専攻	講義	造林・育林 II	2							●	2	32	16	16
専 7 2 5	専攻	講義	森林路網	2							●	1	16	16	
専 7 2 6	専攻	講義	林業機械 II	2							●	1	16	16	
専 7 2 7	専攻	実習	森林管理実習 II	2							●	15	600		600
専 7 2 8	専攻	演習	スマート農林業 II (林業)	2							●	1	16	8	8
												24	744	88	656

(注意) 通年科目については、前期・後期の合計は後期に計上している。

### 3. 履修科目の担当講師一覧

#### (1) 一般教養科目

##### 1 学年

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	講師名	
					担任・校内講師	県職及び外部講師
教 0 1 1	教養	講義	社会と教養	1	田村裕○ 岸哲嗣 本間隆	最上消費生活センター、年金機構、元国語教諭(岸善一)など
教 0 1 2	教養	講義	英会話 I	1	鈴木隆由輝○	教育支援講師(山科美央)
教 0 1 3	教養	演習	体育 I	1	鈴木隆由輝○ 体育部会	株式会社コラボコーポレーション他
教 0 1 4	教養	講義	英語 I	1	鈴木隆由輝○	元英語教諭(斎藤暁子)
教 0 1 5	教養	講義	ビジネス基礎講座 I	1	田村裕○ 本間隆	外部講師
教 0 1 6	教養	講義	就農講座 I	1	高梨良子○ 岸哲嗣 星川孝子	農協中央会、農業共済組合、農業法人経営者(クリタ園芸、舟形マッシュルーム、まゆの郷)

##### 2 学年

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	講師名	
					担任・校内講師	県職及び外部講師
教 0 2 1	教養	講義	英会話 II	2	鈴木隆由輝○	教育支援講師(山科未央)
教 0 2 2	教養	講義	暮らしと社会経済の動向	2	鈴木隆由輝○	山形財務事務所、社会保険労務士会、新庄税務署、新庄年金機構、環境アドバイザー、最上子ども家庭支援課
教 0 2 3	教養	演習	体育 II	2	鈴木隆由輝○ 体育部会	株式会社コラボコーポレーション他
教 0 2 4	教養	講義	英語 II	2	鈴木隆由輝○	元英語教諭(斎藤暁子)
教 0 2 5	教養	講義	ビジネス基礎講座 II	2	田村裕○	
教 0 2 6	教養	講義	就農講座 II	2	西村満○ 鈴木隆由輝	

#### (2) 農林業専門共通科目

##### 1 学年

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	講師名	
					担任・校内講師	県職及び外部講師
共 0 1 1	共通	講義	経営管理と法人化	1	岸哲嗣○	中小企業診断士(加藤和弘)
共 0 1 2	共通	講義	農林業生産とSDGs	1	本間隆○ 佐藤寧 1学年担任	農業技術環境課、GAP審査員(手塚康博)、山形地方気象台、健康福祉部障がい福祉課障がい者活躍・賃金向上推進室
共 0 1 3	共通	講義	農業簿記と経営管理	1	岸哲嗣○	
共 0 1 4	共通	演習	スマート農林業 I	1	鈴木隆由輝○ 1学年担任	試験研究機関、農機具メーカー
共 0 1 5	共通	講義	マーケティング基礎	1	岸哲嗣○	一般社団法人Bridge for fukushima、山形大学農学部(藤科智海)、農産物販路開拓・輸出推進課、森林ノミクス推進課
共 0 1 6	共通	演習	卒業論文計画	1	三澤秀樹○ 1学年担任	
共 0 1 7	共通	講義	特別講義 I (トップマネジメント講座)	1	本間隆○	SDGs、スマート農林業等を実践する農林業経営者等
共 0 1 8	共通	実習	地域協働研究	1	1学年担任○	
共 0 1 9	共通	講義	応用英語 I	1	鈴木隆由輝○	元英語教諭(斎藤暁子)
共 0 1 10	共通	講義	販売管理	1	鈴木隆由輝○	山形販売士協会副会長(富樫一恵)
共 0 1 11	共通	講義	毒物・劇物資格講座	1	鈴木隆由輝○	山形県理科学分析センター
共 0 1 12	共通	演習	情報発信とネットビジネス	1	鈴木隆由輝○	(株)ステップアップコミュニケーションズ(柴田聖一)

## 2 学年

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	講師名	
					担任・校内講師	県職及び外部講師
共 0 2 1	共通	講義	財務管理	2	岸哲嗣○	税理士(大槻義和)
共 0 2 2	共通	講義	海外農林業	2	鈴木隆由輝○ 2学年担任	山形県国際農友会(農業経営所得向上推進課)、 山形国際経済振興機構、青年海外協力協会 JOCA東北IICA海外協力隊支援チーム
共 0 2 3	共通	演習	マーケティング実践	2	岸哲嗣○ 2学年担任	中小企業診断士
共 0 2 4	共通	講義	農林業への県民理解	2	鈴木隆由輝○	工房スロー(高橋伸一)
共 0 2 5	共通	演習	卒業論文	2	三澤秀樹○ 2学年担任	
共 0 2 6	共通	講義	特別講義Ⅱ(トップマネジメント講座)	2	本間隆○	SDGs、スマート農林業等を実践する農林業経営 者等
共 0 2 8	共通	講義	応用英語Ⅱ	2	鈴木隆由輝○	元英語教諭(斉藤暁子)
共 0 2 9	共通	実習	農業機械実習Ⅱ	2	飯野幸弘○	最上ドライビングスクール

### (3) 専攻科目

#### 林業経営学科 (1 学年)

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	講師名	
					担任・校内講師	県職及び外部講師
専 7 1 1	専攻	講義	森林・林業概論	1	倉本幸輝○	森林/ミクス推進課、山形森林管理署最上支署、 森林組合連合会、総合支庁森林整備課
専 7 1 2	専攻	講義	森林生態	1	倉本幸輝○	
専 7 1 3	専攻	講義	樹木	1	倉本幸輝○	一般社団法人やまがた樹木医会
専 7 1 4	専攻	講義	森林情報	1	倉本幸輝○	山形大学名誉教授(野堀嘉裕)
専 7 1 5	専攻	講義	労働安全管理と救急救命	1	倉本幸輝 大築和彦○	日本赤十字社山形県支部、労働基準監督署
専 7 1 6	専攻	講義	造林・育林Ⅰ	1	倉本幸輝○ 大築和彦	
専 7 1 7	専攻	講義	森林保護	1	倉本幸輝○ 大築和彦	
専 7 1 8	専攻	講義	林業機械Ⅰ	1	大築和彦○	
専 7 1 9	専攻	講義	森林計測	1	倉本幸輝 大築和彦○	一般社団法人山形県測量設計業協会
専 7 1 10	専攻	講義	林産	1	倉本幸輝○ 大築和彦	山形県森林研究研修センター
専 7 1 11	専攻	講義	森林環境	1	大築和彦○	
専 7 1 12	専攻	実習	森林管理実習Ⅰ	1	倉本幸輝○ 大築和彦	森林組合、林業事業体、製材工場等木材加工業 者、測量会社、林業関係団体、東北農林専門職 大学(林業)等
専 7 1 13	専攻	実習	先進林業者等体験学習Ⅰ	1	倉本幸輝 大築和彦○ 鈴木隆由輝	

#### 林業経営学科 (2 学年)

コード No	区分 1	区分 2	科目名	学 年	講師名	
					担任・校内講師	県職及び外部講師
専 7 2 1	専攻	講義	森林政策	2	今田洋一○	
専 7 2 2	専攻	講義	森林機能保全	2	今田洋一○	
専 7 2 3	専攻	講義	森林経営	2	今田洋一○	
専 7 2 4	専攻	講義	造林・育林Ⅱ	2	今田洋一○	
専 7 2 5	専攻	講義	森林路網	2	今田洋一○ 須藤泰典	一般社団法人山形県測量設計業協会
専 7 2 6	専攻	講義	林業機械Ⅱ	2	今田洋一 須藤泰典○	
専 7 2 7	専攻	実習	森林管理実習Ⅱ	2	今田洋一○ 須藤泰典	株式会社バスコ、陸上貨物運送事業労働災害防 止協会山形県支部、山形最上ドライビングスク ール、一般社団法人山形県測量設計業協会、森 林組合、山形県青年林業士会、山形県森林研 究研修センター、東北農林専門職大学(林業)
専 7 2 8	専攻	演習	スマート農林業Ⅱ(林業)	2	鈴木隆由輝○ 2学年担任	東北農林専門職大学(林業)、協力企業等

## VII 教育内容

### 1. 教養科目〔共通科目〕

#### < 1 学年 >

科目名	社会と教養			指導内容	時間
コード・学科	教011	全学科		1 社会常識	8
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	(1)社会人として知っておくべきこと	
区分等	必修科目	講義	通期	(2)社会人としてのマナー	
授業概要	社会人として必要となる社会常識や一般教養、社会における個々の役割を理解し、自己をみつめる。			2 一般教養	8
到達目標	社会常識や一般教養に関する学習を通して、社会の変化に対応できる社会人としての基礎的教養を身につける。			(1)一般教養としての知識	8
				(2)地域や社会の動きを知る	
使用教材	自主教材、新聞等			3 心理形成と変化	8
				(1)青年心理	
評価要素	学習態度、レポート、提出物等			(2)自我と性格特性	8
				4 共同社会における個々の役割	
				(1)対人関係と連帯性	
				(2)社会態度	
					32

科目名	英会話 I			指導内容	時間
コード・学科	教012	全学科		1 英会話の基礎	8
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	(1)自己紹介	
区分等	必修科目	講義	通期	(2)文の構成	
授業概要	基礎的な英会話を通して、基本的な表現方法を学ぶ。			2 会話の基本表現	8
到達目標	初歩的なコミュニケーションが図れる程度の英会話力を身につける。			(1)日常会話	
使用教材	自主教材				
評価要素	学習態度・意欲、試験				
					16

科目名	体育 I			指導内容	時間
コード・学科	教013	全学科		1 各種スポーツの企画と実践	
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	(1)トレッキング(野外活動)等	16
区分等	必修科目	演習	通期	(2)体育祭	4
授業概要	運動技能の向上を図り、健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。			(3)球技大会	8
				(4)健康増進等	4
到達目標	球技等の運動を通じて、他人とのコミュニケーションを深めるとともに、安全に競技することができる。				
使用教材	音楽、ボール等				
評価要素	学習態度・意欲				
					32

科目名	英語 I			指導内容	時間
コード・学科	教014	全学科		1 英語に必要な語彙と文法 (1)基本文法と構文の習得	12
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	2 「読む」「聞く」を中心とした英語運用	20
区分等	必修選択科目	講義	通期	(1)実際の場面を想定したリスニング力の向上 (2)速読速解の読解力養成 ※ 進学コース選択者が受講する	
授業概要	英語の運用能力を向上させるとともに、4年制大学3年次編入試験を突破できる英語力を習得する。				
到達目標	TOEICで450点以上の得点を取れる学力を身に付ける。				
使用教材	自主教材、TOEIC問題等				
評価要素	英文の理解力、学習態度・意欲、提出物等				32

科目名	ビジネス基礎講座 I			指導内容	時間
コード・学科	教015	全学科		1 自己分析 (1)自己の能力と適性	4
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	(2)自己PRの作成	
区分等	必修選択科目	講義	通期	2 就職試験を知る	2
授業概要	自己分析を進めることで、適切な進路を選択し、就職試験に対応する力を習得する。			(1)就職試験の実際と必要な能力 3 就職活動の流れを知る (1)就職情報の集め方 (2)就職活動講座 (3)社会人に必要な知識	8
到達目標	適切に進路選択ができるようにするとともに、就職試験に必要なコミュニケーション力や基礎的な知識・能力を養う。			4 筆記試験対策 (1)一般常識問題について (2)SPIについて (3)適性検査について	12
使用教材	SPI問題集、一般常識問題集、自主教材等			5 作文と面接試験対策 (1)作文の構成について (2)面接試験の実際(面接練習) ※ 就職コース選択者が受講する	6
評価要素	学習態度、意欲、提出物、小テスト等				32

科目名	就農講座 I			指導内容	時間
コード・学科	教016	全学科		1 農政時事 (1)農政の展開方向(国・県)	4
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	2 農地制度・農業法規 (1)農地制度と農政 (2)農業委員会制度 (3)農地法、農業経営基盤強化促進法	2
区分等	必修選択科目	講義	通期	3 農業協同組合 (1)農業協同組合の歩みと事業概要	4
授業概要	地域の農業を担うリーダーとしての基本的な知識を習得するとともに、自家の農業経営を把握する。			4 市場・流通 (1)農産物市場・流通について	2
到達目標	農政や各種農業制度、流通制度等の理解。自家の農業経営の把握。			5 農家と農業経営 (1)農家と農業経営、経営の把握 (2)先進農業経営等の講義・視察等※ (3)農業における雇用活用 ※ 就農コース選択者と雇用就農コース選択者合同講義	20
使用教材	自主教材				
評価要素	学習態度・意欲、提出物、レポート				32

< 2 学年 >

科目名	英会話Ⅱ			指導内容	時間
				1 実践的な英会話能力	16
コード・学科	教021	全学科		(1)英会話の実践	
学年・単位・時間	2学年	1単位	16時間	(2)日常会話表現	
区分等	必修科目	講義	前期		
授業概要	実践的な英会話を通して、英語力や表現方法などを学ぶ。				
到達目標	外国人観光客等と意思疎通を図れる程度の会話能力を身に付ける。				
使用教材	自主教材				
評価要素	学習態度・意欲、試験				16

科目名	暮らしと社会経済の動向			指導内容	時間
				1 各種社会制度について	8
コード・学科	教022	全学科		(1)労働・社会保険について	
学年・単位・時間	2学年	1単位	16時間	(2)税金のはなし	
区分等	必修科目	講義	通期	(3)金融・家計管理の基礎	
授業概要	経済・社会経済・農村社会について理解し、社会人としての義務や役割について学ぶ。			2 農村社会と文化	4
				(1)地域文化と歴史	
				3 就農・就職前の心構え	4
				(1)社会人の基礎知識、マナー	
到達目標	社会人としての義務や役割について理解を深めるとともに、一般常識やマナーを身に付ける。				
使用教材	自主教材				
評価要素	学習態度・意欲、提出物(レポート)等				16

科目名	体育Ⅱ			指導内容	時間
				1 各種スポーツの企画と実践	
コード・学科	教023	全学科		(1)トレッキング(野外活動)等	16
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	(2)体育祭	4
区分等	必修科目	演習	通期	(3)球技大会	8
				(4)健康増進等	4
授業概要	運動技能の向上を図り、健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。				
到達目標	球技等の運動を通じて、他人とのコミュニケーションを深めるとともに、安全に競技することができる。				
使用教材	音楽、ボール等				
評価要素	学習態度・意欲				32



科目名	英語Ⅱ			指導内容	時間
コード・学科	教024	全学科		1 長文読解 (1)正確な英文内容把握と要約等	8
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	2 応用表現	8
区分等	必修選択科目	講義	前期	(1)実用的表現の習得と運用 ※ 進学コース選択者が受講する	
授業概要	大学等の高度な研究で必要とされる英語読解力や運用力を養い、4技能(話す、聞く、書く、読む)の総合的な強化を図る。				
到達目標	英語の読解力や運用力等の総合的な技能を身に付ける。				
使用教材	自主教材、TOEIC問題等				
評価要素	文法解釈や長文読解の理解力、学習態度・意欲、提出物、小テスト等				16

科目名	ビジネス基礎講座Ⅱ			指導内容	時間
コード・学科	教025	全学科		1 就職試験に臨むにあたって (1)就職試験の概要とその心構え	2
学年・単位・時間	2学年	1単位	16時間	2 履歴書作成について	4
区分等	必修選択科目	講義	前期	(1)履歴書の書き方と自己PR文の作成	
授業概要	就職試験で必要とされる基礎的知識の習得と、話す・書くなどの総合的なコミュニケーション力を育成する。			3 筆記試験対策 (1)一般常識試験対策 (2)SPI試験対策	4
到達目標	就職活動を効果的に行うための知識や技能を身に付けさせることで、進路希望の早期達成を図る。			4 作文と面接試験対策 (1)作文試験対策 (2)面接試験対策	4
使用教材	SPI問題集、一般常識問題集、自主教材等			5 社会人としてのマナー (1)ビジネスマナーについて ※ 就職コースと雇用就農コース選択者が受講する	2
評価要素	学習態度、意欲、提出物、小テスト等				16

科目名	就農講座Ⅱ			指導内容	時間
コード・学科	教026	全学科		1 農業法人制度 農業法人制度の概要	2
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	2 就農支援制度 各種就農支援制度	2
区分等	必修選択科目	講義	前期	3 就農計画 就農計画の作成	10
授業概要	農業を担う地域社会のリーダーに相応しい基本的な知識を習得する。			4 就農計画発表会 就農計画の発表、質疑応答、助言 ※ 就農コース選択者が受講する	2
到達目標	自分の就農計画を作成する。				
使用教材	自主教材				
評価要素	学習態度、意欲、提出物等				16

## 2. 専門科目

### (1) 共通科目 (全学科共通)

#### < 1 学年 >

科目名	経営管理と法人化			指導内容	時間
コード・学科	共011	全学科		1 経営体の形態	4
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	2 経営計画とPDCAサイクル	4
区分等	必修科目	講義	前期	3 労務管理	2
授業概要	経営管理の基礎や組織経営の仕組み、経営の法人化について学ぶ			4 農林産物の流通	4
到達目標	農業経営における経営管理の意義や組織化や法人化について理解できる			5 経営の組織化・法人化	2
使用教材	自主教材				
評価要素	授業態度50%、レポート提出・試験50%				
					16

科目名	農林業生産とSDGs			指導内容	時間
コード・学科	共012	全学科		1 山形県の農林業の特徴	4
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	2 稲作生産の基礎	2
区分等	必修科目	講義	通期	3 果樹生産の基礎	2
授業概要	農業生産に関する基本的な概要(知識・技術)を理解するとともに、SDGsを推進するために必要となる農林業と環境の関わりや環境法全機能、GAPなどを総合的に学ぶ			4 野菜生産の基礎	2
到達目標	SDGsや環境保全、GAPなどについて自分の考えを述べられる			5 花き生産の基礎	2
使用教材	自主教材			6 畜産の基礎	2
評価要素	授業態度50%、レポート提出50%			7 林業の基礎	2
				8 農林業と環境	8
				9 GAP(農業生産工程管理)	6
				10 SDGs	2
					32

科目名	農業簿記と経営管理			指導内容	時間
コード・学科	共013	全学科		1 農業簿記の概要と簿記一連の手続	2
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	2 貸借対照表と損益計算書	2
区分等	必修科目	講義	通期	3 勘定科目	2
授業概要	経営管理に必要な経営内部のデータを蓄積・整理する農業簿記の仕組みと、そのデータを活用した経営管理方法を体系的に学ぶ			4 仕訳	8
到達目標	農業簿記検定3級程度の内容が理解できる			5 元帳転記	4
使用教材	農業簿記検定3級教科書・問題集、演習問題等			6 試算表	2
評価要素	演習問題ファイルの提出40%、小テスト(2回)60%			7 決算仕訳(減価償却費の考え方など)	4
				8 精算表	2
				9 決算手続きと次年度繰越処理	2
				10 決算書の見方と経営分析	4
					32

科目名	スマート農林業Ⅰ	指導内容	時間
		1 スマート農業の最新事情	4
コード・学科	共014 全学科	2 農地利用作物のスマート技術活用	4
学年・単位・時間	1学年 2単位 32時間	3 施設園芸の最新技術	4
区分等	必修科目 演習 通期	4 IT管理ツールの活用	4
授業概要	企業・メーカー等から各分野のスマート技術に関する事例を紹介してもらい理解を深める。また、パソコン等を使用したOA操作や動画作成を学ぶ。	5 アプリを活用した動画作成	12
		6 パソコン等の基本操作	4
到達目標	農業の労働力不足や大規模経営に対応するため、水稻及び施設利用型作物のスマート農業について体系的に学び、実装技術を理解する。		
使用教材	自主教材		
評価要素	学習態度・意欲、演習成果、提出物(レポート)等		
			32

科目名	マーケティング基礎	指導内容	時間
		1 マーケティング概要	4
コード・学科	共015 全学科	(1)マーケティング概念の理解	
学年・単位・時間	1学年 2単位 32時間	(2)市場選択、市場リサーチ	
区分等	必修科目 講義 通期	(3)マーケティングミックス	
授業概要	マーケティングの基本的な知識を習得し、農林業経営におけるマーケティングの重要性を理解するとともに、マーケティングを取り入れた経営改善手法について学ぶ。	2 ビジネスゲーム	8
		(1)戦略づくり	
		(2)実績把握	
到達目標	マーケティングの基礎知識と6次産業化の取組みについて理解する。	3 ビジネスゲームの振り返り	4
		(1)経営分析	
		(2)発表	
使用教材	農トレ、自主教材	4 6次産業化について	4
		(1)6次産業化の概要	
		(2)6次産業推進施策等	
評価要素	学習態度、筆記試験、レポート	5 6次産業化への地域戦略	8
		(1)フードシステムと6次産業化	
		(2)SWOT分析によるビジネス構想	
		6 農産加工の基礎	4
		(1)農産加工の実際と原料供給	
			32

科目名	卒業論文計画	指導内容	時間
		1 卒業論文研究について	
コード・学科	共016 全学科	(1)中間検討会	8
学年・単位・時間	1学年 5単位 80時間	(2)卒業論文発表会	16
区分等	必修科目 演習 通期	2 卒業論文計画作成	
授業概要	中間検討会、卒業論文発表会を通して専門的なプロジェクト学習についての理解を深め、優れた卒業論文計画を作成する。	(1)課題の抽出、選定	16
		(2)ねらい、到達目標の設定	16
		(3)調査・作業計画の作成	16
到達目標	卒業論文計画を作成し、卒業論文に取り組む準備が整う。	(4)卒業論文計画発表会	8
使用教材	自主教材、過去の卒業論文集等		
評価要素	発表内容、学習態度、提出物		
			80

科目名	特別講義 I	指導内容	時間
コード・学科	共017 全学科	1 全国の優良農林業経営者の講話1 (GAP、働き方改革、SDGsなど)	4
学年・単位・時間	1学年 1単位 16時間	2 全国の優良農林業経営者の講話2	4
区分等	必修科目 講義 通期	3 全国の優良農林業経営者の講話3	4
授業概要	農林業、食品等の関連分野において、県内外で活躍する実践者等の講義を通して学生の見聞を広げるとともに、キャリア形成に関する意識の向上を図る。	4 全国の優良農林業経営者の講話4	4
到達目標	GAP、働き方改革、SDGs等の実践事例を知ることにより、高度な取組みに対する意欲が高まる。		
使用教材	講師提供資料		
評価要素	出席状況、学習態度、レポート等		
			16

科目名	地域協働研究	指導内容	時間
コード・学科	共018 全学科	1 課題の整理 (1)地域住民との検討による課題の把握、整理	4
学年・単位・時間	1学年 1単位 40時間	2 企画立案 (1)企画書の作成	6
区分等	必修科目 実習 通期	3 実施 (1)住民との協調・協働による活動 (2)校内での活動	20
授業概要	新庄最上地域の地域課題をテーマとして、地域の方々と連携した活動を通じ、地域振興への意欲と課題解決能力を育成する。	4 反省、評価 (1)活動のまとめと反省 (2)発表会	10
到達目標	地域に対する愛着や誇りを持ち、コミュニケーション能力を発揮し、仲間と共に実践できる。		
使用教材	自主教材		
評価要素	学習態度、レポート		
			40

(自由選択科目)

科目名	応用英語 I	指導内容	時間
コード・学科	共019 全学科	1 食料・農林業等に関する英文理解 (1)実践的な英語表現の理解(TOEIC対策の強化)	16
学年・単位・時間	1学年 1単位 16時間		
区分等	自由選択科目 講義 通期		
授業概要	英語の読解力等を身につけ、4年制大学3年次編入試験に対応できるようにする。		
到達目標	TOEICで450点以上の得点を取れる学力を身に付ける。		
使用教材	自主教材、TOEIC問題等		
評価要素	英文の理解力、学習態度・意欲、提出物等		
			16

科目名	販売管理	指導内容	時間
コード・学科	共0110 全学科	1 小売業の種類	6
学年・単位・時間	1学年 2単位 32時間	2 マーチャンダイジング	6
区分等	自由選択科目 講義 前期	3 ストアオペレーション	6
授業概要	小売業における販売、マーケティング、経営管理について理解する。日商「販売士3級」資格取得に役立つ。(3級試験の「販売・経営管理」の試験免除になる)	4 マーケティング	6
到達目標	日商「販売士3級」に合格できる程度の知識を身に付ける。	5 販売・経営管理	8
使用教材	日商「3級販売士養成講習テキスト」	※ 日商「3級販売士養成講習会」を兼ねる	
評価要素	学習態度・意欲、試験等		
			32

科目名	毒物・劇物資格講座	指導内容	時間
コード・学科	共0111 全学科	1 基礎化学	4
学年・単位・時間	1学年 1単位 16時間	(1)原子と分子、イオン	
区分等	自由選択科目 講義 前期	(2)酸とアルカリ	
授業概要	病害虫の防除薬剤について、安全性評価や適正使用・防除の方法、及び薬剤の管理方法等を学び、併せて毒物劇物取扱者資格の取得を目指した基礎学習を行う。	(3)酸化・還元	
到達目標	毒物劇物の資格取得に必要な基礎的な化学の知識を身に付ける。	(4)有機化合物	6
使用教材	自主教材	2 毒物及び劇物に関する法規	
評価要素	学習態度・意欲、試験等	(1)毒物・劇物取締法の目的、定義	
		(2)毒物劇物営業者の登録・販売	
		(3)毒物および劇物の取扱い・運搬	
		(4)毒物劇物の譲渡・破棄・回収	6
		3 貯蔵と取扱い	
		(1)毒物劇物の性質・貯蔵(一般)	
		(2)毒物劇物の性質・貯蔵(農薬用品目)	
		(3)毒物劇物の性質・貯蔵(特定品目)	
		(4)農産物・森林病害虫の農薬による防除方法	
			16

科目名	情報発信とネットビジネス	指導内容	時間
コード・学科	共0112 全学科	1 ネットショップ開設による情報発信	
学年・単位・時間	1学年 1単位 16時間	(1)発信に向けた情報の整理	4
区分等	自由選択科目 講義 前期	(2)消費者にアピールできるページ作り	8
授業概要	ネットショップの開設を通して、自身の経営コンセプトや消費者へのアピールポイント等を整理し、効果的に情報発信する方法・知識を学ぶ。	(3)ネットショップ開設・運営と相互評価	4
到達目標	ネット販売の基礎知識や手法について身に付ける。		
使用教材	自主教材		
評価要素	学習態度・意欲、演習成果、提出物等		
			16

< 2 学年 >

科目名	財務管理			指導内容	時間
コード・学科	共021	全学科		1 損益計算書と貸借対照表	12
学年・単位・時間	2学年	2単位	32時間	(1)利益の仕組みについて理解する	
区分等	必修科目	講義	通期	(2)費用、原価、付加価値について理解する	
授業概要	農林業経営者としての資質と能力の向上を図るため、利益構造や損益分岐点、農林業金融等について学ぶ。			(3)利益率、回転率について学習する	
到達目標	基本的な財務管理手法が理解できる。			2 損益分岐点	12
使用教材	かんき出版「はじめての人の決算書入門塾」ほか			(1)損益分岐点について理解する	
評価要素	筆記試験、レポート、学習態度等			(2)安全率や目標売上高について学習する	
				3 農林業金融	8
				(1)農林業金融の概要	
					32

科目名	海外農林業			指導内容	時間
コード・学科	共022	全学科		1 国際農友会の取組み	4
学年・単位・時間	2学年	1単位	16時間	(1)研修事業の概要	
区分等	必修科目	講義	通期	(2)体験談	
授業概要	山形県産物の輸出の現状および将来の展望について、実際の取組事例などを通じて理解を深める。			2 山形県国際経済振興機構の取組み	4
到達目標	農産物の輸出について興味を持つ。			(1)県産品輸出の現状	
使用教材	自主教材			3 輸出に取り組む農業法人等の事例紹介	4
評価要素	受講態度、意欲、レポート			4 海外での体験談(海外協力隊)	4
				(1)体験談	
				(2)日本と海外の農業の違い	
					16

科目名	マーケティング実践			指導内容	時間
コード・学科	共023	全学科		1 農大市場でのマーケティング実践	
学年・単位・時間	2学年	2単位	32時間	(1)農大市場1	4
区分等	必修科目	演習	通期	(2)農大市場2	4
授業概要	農大市場の販売活動をベースに、実際にマーケティング活動に取り組み、データの収集・分析、販売管理、販売組織づくり等について学ぶ			(3)農大市場3	4
到達目標	商品(農産物等)販売に関する基礎知識や実際の販売活動を通して販売についての理解を深める。			(4)農大市場4	4
使用教材	自主教材			2 販売組織の基礎知識	
評価要素	研修態度、意欲、提出物(レポート等)			(1)販売組織と計画づくり	4
				(2)商品開発とブランド化	4
				(3)POP作成と販売ポイント	4
				(4)農大市場運営の改善について	4
					32

科目名	農林業への県民理解	指導内容	時間
コード・学科	共024 全学科	1 農林業と地域社会について	
学年・単位・時間	2学年 1単位 16時間	(1)地域社会における森づくり	2
区分等	必修科目 講義 通期	(2)持続可能な開発目標(SDGs)と農林業について	4
授業概要	食育に関する基礎知識、農林業とその地域社会に住む人との関わりや意義について学ぶ。	2 農業と食との関係について	
		(1)食生活と農林業	8
		(2)農業と食との結びつき(食育実践家による授業)	2
到達目標	農林業と食の関係について理解を深める。		
使用教材	自主教材		
評価要素	学習態度・意欲、提出物(レポート)等		
			16

科目名	卒業論文	指導内容	時間
コード・学科	共025 全学科	1 調査研究手法の習得	
学年・単位・時間	2学年 15単位 240時間	(1)調査・観察手法の習得	8
区分等	必修科目 演習 通期	(2)耕種・作業計画の遂行と確認	32
授業概要	専攻実践学習等で体得した専門知識、技術の集大成として、専攻プロジェクトを総括することにより、自己解決能力を醸成し、我が家の経営設計を描くことで経営者としての能力を養う。	2 調査	
		(1)調査、データ収集	40
		(2)データの分析	32
到達目標	2年間の学びを卒業論文にまとめる。	3 結果の分析と評価・考察	
		(1)資料の収集	16
		(2)考察、取りまとめ	32
使用教材	過去の卒業論文等	4 研究成果の発表	
		(1)中間検討会	8
		(2)外部の評価、地域への貢献	8
		(3)卒業論文発表会	16
		(4)卒業論文作成	48
評価要素	取り組み態度、発表での評価等		
			240

科目名	特別講義Ⅱ	指導内容	時間
コード・学科	共026 全学科	1 全国の優良農林業経営者の講話1 (GAP、働き方改革、SDGsなど)	4
学年・単位・時間	2学年 1単位 16時間	2 全国の優良農林業経営者の講話2	4
区分等	必修科目 講義 通期	3 全国の優良農林業経営者の講話3	4
授業概要	農林業、食品等の関連分野において、県内外で活躍する実践者等の講話を通して学生の見聞を広げるとともに、キャリア形成に関する意識の向上を図る。	4 全国の優良農林業経営者の講話4	4
到達目標	GAP、働き方改革、SDGs等の実践事例を知ることにより、高度な取組みに対する意欲が高まる。		
使用教材	講師提供資料		
評価要素	出席状況、学習態度、レポート等		
			16

(自由選択科目)

科目名	応用英語Ⅱ	指導内容	時間
コード・学科	共027 全学科	1 食料・農林業等に関する英文理解 (1)実践的な英語表現の理解(TOEIC対策の強化)	16
学年・単位・時間	2学年 1単位 16時間		
区分等	自由選択科目 講義 前期		
授業概要	英語の読解力等を身につけ、4年制大学3年次編入試験に対応できるようにする。		
到達目標	TOEICで500点以上の得点を取れる学力を身に付ける。		
使用教材	自主教材、TOEIC問題等		
評価要素	英文の理解力、学習態度・意欲、提出物等		16

科目名	農業機械実習Ⅱ	指導内容	時間
コード・学科	共028 全学科	1 農作業安全	
学年・単位・時間	2学年 1単位 40時間	(1)農業機械の安全使用	2
区分等	自由選択科目 実習 前期	(2)公道走行における法規遵守	2
授業概要	大型特殊自動車(農耕用)及びけん引(農耕用)の運転操作を学び、農作業安全操作技術を習得する。	2 農業機械の構造と点検・整備 (1)トラクター・けん引車の構造 (2)トラクター・けん引車点検整備	2 2
到達目標	けん引(農耕用)の資格を取得する。	3 運転技能 (1)運転コース実技(基本操作) (2)運転コース実技(応用操作) (3)けん引運転免許試験	8 20 4
使用教材	トラクター、けん引車		
評価要素	実技試験、学習態度、出席状況		40



## (2) 専攻科目

## 林業経営学科

## &lt; 1 学年 &gt;

科目名	森林・林業概論			指導内容	時間
コード・学科	専711	林業		1 森林・林業の基礎	
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	(1) 森林の機能・生態・施業方法等	4
区分等	必修科目	講義	前期	2 森林・林業の動向	
授業概要	森林・林業の基礎及び県内の森林・林業とその動向について学ぶ。			(1) 森林・林業と山村をめぐる動向	4
				(2) 木材需給と木材利用	4
到達目標	森林・林業に関する基礎的な用語及び森林が有する多面的機能について理解している。自分の将来像と「やまがた森林ノミクス」の関わりについて説明できる。			3 山形県の森林・林業等	
				(1) 山形県の森林・林業・木材産業	2
使用教材	林業実践ブック、森林・林業白書			(2) やまがた森林ノミクスの取り組み	2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					16

科目名	森林生態			指導内容	時間
コード・学科	専712	林業		1 森林の生態と分布	
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	(1) 生態系	4
区分等	必修科目	講義	後期	(2) 生態系に係わる環境要因	2
授業概要	森林生態系の構造と生物群集の役割、植生遷移およびそれらと森林施業の関係を学び、適地適木について理解を深める。			(3) 世界の森林	4
				2 日本の森林	
到達目標	森林生態系の構成要素と相互作用及び気象と植物群落について理解し、植生遷移について説明できる。森林生態系を考慮した森林施業の重要性を理解できる。			(1) 日本の自然環境	2
				(2) 日本の植物群系	2
使用教材	森林科学、森林環境科学、森づくりの原理・原則			(3) 森林の遷移	2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					16

科目名	樹木			指導内容	時間
コード・学科	専713	林業		1 植物の種と形態	
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	(1) 植物の種	4
区分等	必修科目	講義	前期	(2) 植物各部の形態と機能	4
授業概要	植物の基礎的な構造を学ぶ。また、県内の代表的な樹種について生態や利用方法などを学ぶ。			2 主要な樹種の特長	
				(1) 樹木の構成と働き	4
到達目標	植物の水利用や光合成について理解している。図鑑等を用いて樹種を同定することができる。才治沼実習林に生育する樹木を30種以上識別することができる。			(2) 樹木の分類と名前	4
				(3) 針葉樹の特性	4
使用教材	森林科学、葉で見分ける樹木			(4) 針葉樹の樹種と特徴	4
				(5) 広葉樹の特性	4
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度			(6) 広葉樹の樹種と特徴	4
					32

科目名	森林情報			指導内容	時間
コード・学科	専714	林業		1 森林情報の種類と所在 (1) ガイダンス・アメリカの国立公園、時間情報・空間情報	2
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	2 空中写真の利用	
区分等	必修科目	講義	後期	(1) Forest Windowによる森林の空間情報解析	2
授業概要	森林情報の種類と活用方法から、最新の森林情報データの利活用までを学ぶ。			(2) 森林の動態解析	2
到達目標	GISとGNSSを利用した森林管理の基礎を理解し、活用できる。LiDARデータを使った森林空間情報解析の基礎を理解している。			3 衛星リモートセンシングの利用 (1) 地球温暖化と森林バイオマス、TCWで計測 (2) GISによる海岸線の管理計画	2 2
使用教材	配布資料、森林情報学入門、山形県森林情報管理システム			4 GIS・GNSSの利用 (1) FW3D 植生図・環境情報GIS (2) GNSSを用いたGISデータの構築 (3) LiDARデータを使った森林空間情報解析、最新技術の紹介	2 2 2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					16

科目名	労働安全管理と救急救命			指導内容	時間
コード・学科	専715	林業		1 労働安全 (1) 林業労働災害の発生状況	2
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	(2) 安全な作業の基本	6
区分等	必修科目	講義	前期	(3) 危険予知	6
授業概要	林業における安全な作業、労働災害の原因分析とリスクアセスメント及び救急救命とけがなどの対処方法を学ぶ。			(4) 機械作業の振動・騒音	2
到達目標	安全な作業を行うための基本的事項を説明できる。災害の原因分析とリスクアセスメントができる。基礎的なけがや急病への対処方法を理解し対処ができる。			2 救急法基礎講習 (1) 急病者の観察 (2) 一次救命措置	2 2
使用教材	安全な作業の基本、赤十字救急法基礎講習教本、赤十字救急法講習教本			3 救急法救急員養成講習 (1) 急病の手当 (2) けがの手当 (3) 搬送及び救護	4 4 4
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					32

科目名	造林・育林 I			指導内容	時間
コード・学科	専716	林業		1 森林づくりの基礎 (1) 森づくりの基礎	8
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	2 育種	
区分等	必修科目	講義	前期	(1) 林木育種の目的	2
授業概要	造林から育林、伐採に至る一連の人工造林施業の流れと各施業の基礎について学ぶ。			(2) 林木育種の技術	2
到達目標	裸苗とコンテナ苗の育苗方法について理解している。育苗、植栽、下刈り、除伐、間伐、枝打ちなどの各施業の目的・方法・留意点を説明できる。			3 育苗(裸苗とコンテナ苗) (1) 苗木生産の基本 (2) 苗畑作業	2 2
使用教材	森林科学、森づくりの原理・原則			4 造林 (1) 人工造林の基本 (2) 人工造林の方法	2 2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度			5 保育 (1) 初期保育の目的と方法 (2) 枝打ちの目的と方法	2 2
				6 間伐 (1) 間伐の目的と効果 (2) 密度管理	4 4
					32

科目名	森林保護			指導内容	時間
コード・学科	専717	林業		1 森林被害 (1) 森林被害の種類と概要	4
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	2 森林病虫獣害	
区分等	必修科目	講義	後期	(1) 森林に住む生き物の生態	4
授業概要	森林保護の基礎と、県内の主な害虫、害獣及び樹病の特徴と対策について学ぶ。			(2) 動物による被害とその防除	2
				(3) 虫による被害とその防除	4
				(4) 樹病の原因とその防除	2
到達目標	森林被害の現状と対策について理解している。森林病虫獣害の発生の仕組みと被害形態、防除方法について理解している。				
使用教材	林業技術ハンドブック				
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					16

科目名	林業機械 I			指導内容	時間
コード・学科	専718	林業		1 林業機械概論 (1) 機械化の歴史	2
学年・単位・時間	1学年	2単位	32時間	(2) 主要な林業機械	2
区分等	必修科目	講義	前期	2 伐木、造材、集材の方法	
授業概要	機械(高性能林業機械を含む)を用いた伐採、造材、集材の方法の基礎及び作業システムの基礎について学ぶ。			(1) 伐木、造材、集材の方法	4
				(2) 伐木・造材・集材機械	2
				3 作業システム I	
				(1) 作業システムの基本原則	4
				(2) 複数の林業機械による作業システム	4
				(3) 素材生産のコスト計算	12
				(4) 架線を用いた集材	2
到達目標	高性能林業機械の特徴及びこれらを活用した効率的な作業システムを理解している。素材生産のコスト計算を演習し、コスト計算と管理の基礎を理解している。				
使用教材	森林科学、森林施業プランナーテキスト改訂版、林業技術ハンドブック				
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					32

科目名	森林計測			指導内容	時間
コード・学科	専719	林業		1 森林計測 (1) 測樹	3
学年・単位・時間	1学年	1単位	16時間	(2) 立木の材積測定	3
区分等	必修科目	講義	前期	2 測量	
授業概要	測樹と立木材積の算定及び林業で用いられる基本的な測量方法について学ぶ。			(1) 距離測量	2
				(2) コンパス測量	2
				(3) 角測量	2
				(4) トラバース測量	2
				(5) 水準測量	2
到達目標	立木の材積を算定することができる。コンパス、デジタルコンパス等を使って必要な精度を満たす測量をすることができる。測量成果を図化することができる。				
使用教材	森林経営、農業測量				
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					16

科目名	林産	指導内容	時間
コード・学科	専7110 林業	1 木材	
学年・単位・時間	1学年 2単位 32時間	(1) 木材の性質と用途	4
区分等	必修科目 講義 通期	(2) 製材機械と工作	2
授業概要	木材を構成する組織と素材としての特徴、丸太・製材・製品利用の流通について体系的に学ぶ。また、県内を代表する特用林産物について学ぶ。	(3) 木材の乾燥と保存	2
到達目標	木材資源の重要性について説明できる。木材の加工・流通及び価格の推移などを理解している。県内の特用林産物の概要と栽培方法の基礎を理解している。	(4) 多様な木材製品	2
使用教材	使用教材: 林産物利用、林業技術ハンドブック	(5) 木質バイオマスの利活用	2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度	(6) 木材流通の仕組み	2
		(7) 木造建築の動向	2
		(8) 建築工法と特性	4
		2 特用林産物	
		(1) 特用林産物	2
		(2) きのこの栽培技術	4
		(3) 山菜の栽培技術	4
		(4) 木炭の生産技術	2
			32

科目名	森林環境	指導内容	時間
コード・学科	専7111 林業	1 森林土壌	
学年・単位・時間	1学年 2単位 32時間	(1) 土壌と水と森林	2
区分等	必修科目 講義 通期	(2) 土壌の生成	2
授業概要	森林土壌と森林・林業、環境因子と林木の生育の関係について学ぶ。	(3) 地形と土壌	2
到達目標	土壌生成メカニズム、森林土壌調査を理解している。光、温度、水、地形、積雪等と林木の生育の関係について理解している。適地適木について説明できる。	(4) 土壌の分類	4
使用教材	森をささえる土壌の世界、森林科学、森づくりの原理・原則、森林土壌の調べ方とその性質	(5) 土壌の調査方法	4
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度	2 森林気象	
		(1) 光環境と林木の生育	2
		(2) 温度と林木の生育	2
		(3) 水環境と林木の生育	2
		(4) 地形と林木の生育	2
		(5) 積雪環境と林木の生育と雪害	4
		(6) 気候と植生	3
		(7) 気象害に強い森づくり	3
			32

科目名	森林管理実習 I	指導内容	時間
コード・学科	専7112 林業	1 森林保育	88
学年・単位・時間	1学年 11単位 440時間	2 手道具の手入れ	8
区分等	必修科目 実習 通期	3 森林計測	64
授業概要	林業で用いる道具や機械の使用手法と管理方法、林分調査から間伐までの工程、特別教育などの資格取得、安全な伐倒、製材、きのこの栽培などを学ぶ。	4 安全衛生教育、特別教育、技能講習	100
到達目標	林業の道具と機械を安全に使用、手入れすることができる。林分調査から安全な伐倒までをできる。マーケットインによる林業経営の重要性を理解している。	5 林業機械実技	140
使用教材	森林科学、林業技術ハンドブック、森林経営、農業測量、安全な刈払機作業のポイント、チェーンソー作業の安全ナビ、車両系林業機械安全マニュアル	6 木材の加工・流通	16
評価要素	出席、技能、学習態度	7 きのご栽培	12
		8 山菜	4
		9 木炭	8
			440

科目名	先進林業者等体験学習Ⅰ	指導内容	時間
コード・学科	専7113 林業	1 先進農林家等における体験学習	
学年・単位・時間	1学年 4単位 160時間	(1) 先進的技術の体験・学習(造林・育林・林産物生産)	
区分等	必修科目 実習 通期	(2) 地域生産組織の役割	
授業概要	森林組合や林業事業体等において林業や木材加工等の体験学習を行う。	2 経営手法の体得	
到達目標	林業や木材加工等の体験学習を行い、進路について具体的なイメージを持つことができる。自分の考えを伝えることができるコミュニケーション能力を持つ。	(1) 林産物販売手法	
使用教材	研修日誌等	(2) 森林経営管理手法	
評価要素	学習態度、意欲、レポート、出席状況		
			160

## < 2 学年 >

科目名	森林政策	指導内容	時間
コード・学科	専721 林業	1 森林・林業政策	
学年・単位・時間	2学年 1単位 16時間	(1) 国の森林・林業政策	2
区分等	必修科目 講義 後期	(2) 山形県の森林・林業政策	2
授業概要	日本の歴史を遡り、各時代の森林・林業政策について学ぶ。また、森林計画制度及び保安林制度などについて学ぶ。	(3) 山形県独自の森林保全政策	2
到達目標	各時代の森林・林業関係の課題と政策について理解している。国や山形県の現在の森林・林業関係の施策・制度について理解している。	2 森林計画制度	
使用教材	森林経営、森林・林業白書、森林施策プランナーテキスト改訂版	(1) 全国・地域・市町村森林計画	2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度	3 保安林制度	
		(1) 保安林の制度	2
		4 林業普及指導事業	
		(1) 林業普及指導の施策	2
		5 森林整備事業	
		(1) 造林補助金等の制度	2
		6 国有林	
		(1) 国有林と組織	2
			16

科目名	森林機能保全	指導内容	時間
コード・学科	専722 林業	1 森林の多面的機能	
学年・単位・時間	2学年 1単位 16時間	(1) 森林の機能の種類と特徴	2
区分等	必修科目 講義 後期	2 林産物生産機能	
授業概要	森林の有する多面的機能、山地防災の歴史、治山事業の種類や取り組み事例などについて学ぶ。	(1) 林産物の供給	2
到達目標	森林の有する多面的機能について説明することができる。山地災害発生メカニズムと対策について理解している。治山工事の工法の基礎を理解している。	3 環境保全機能	
使用教材	森林科学、森林経営	(1) 水源かん養機能	2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度	(2) 山地災害の防止機能	2
		(3) その他森林の防災機能	2
		(4) 環境保全機能	2
		(5) 保健休養機能	2
		4 森林の公益的機能の保全	
		(1) 治山治水	2
			16

科目名	森林経営			指導内容	時間
コード・学科	専723	林業		1 森林経営の概要	
学年・単位・時間	2学年	2単位	32時間	(1) 森林経営の動向	4
区分等	必修科目	講義	前期	(2) 経営の種類と特徴	4
授業概要	森林経営の現状と課題、提案型集約化施業の基礎について学ぶ。			2 森林経営の目標と組織	
				(1) 森林経営の目標	2
				(2) 森林経営の管理組織	4
到達目標	マーケットインによる林業経営の重要性、森林経営計画の作成に必要な森林の評価について及び合意形成を円滑にする方法などを理解している。			3 森林経営に関する計画	
				(1) 提案型集約化施業	4
				4 林業の税制	
使用教材	森林経営、林業技術ハンドブック、森林施業プランナーテキスト改訂版			(1) 林業の税制度	4
				5 森林の評価	
				(1) 森林評価の特徴と種類	2
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度			(2) 林地と林木の評価	6
				(3) 公益的機能の評価	2
					32

科目名	造林・育林Ⅱ			指導内容	時間
コード・学科	専724	林業		1 造林	
学年・単位・時間	2学年	2単位	32時間	(1) 人工更新	4
区分等	必修科目	講義	通期	(2) 挿木苗の育成	2
授業概要	森林機能と目標林型、密度管理、多様な森林施業について学ぶ。			(3) 施業体系	6
				2 育林	
				(1) 天然更新法	4
到達目標	目標林型に誘導するために必要な施業、皆伐一斉林施業、択伐林施業の長所と短所及び天然更新方法及び更新完了基準について理解している。			(2) 間伐の選木方法	2
				(3) 間伐の方法	2
				(4) 間伐の時期	2
使用教材	森林科学、森づくりの原理・原則			(5) 密度管理演習	4
				(6) 土壌と下層植生の維持	2
				(7) 多様な森林施業	4
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					32

科目名	森林路網			指導内容	時間
コード・学科	専725	林業		1 路網の種類とはたらき	
学年・単位・時間	2学年	1単位	16時間	(1) 路網の種類と機能	2
区分等	必修科目	講義	前期	(2) 森林作業道の特徴	2
授業概要	森林路網の種類と役割、規格、機能について学ぶ。また、計画に必要な地形・地質、森林作業道の設計と作設の基礎について学ぶ。			2 地形・地質の基礎知識	
				(1) 地形の見方、土の特性	2
				3 森林作業道の設計と作設	
到達目標	森林路網の基礎について理解している。地形の特徴を判断し路網開設時の留意点を理解している。計画から路線選定、作設の流れについて理解している。			(1) 作業道の作設手順	2
				(2) 路線の計画	2
				(3) 路線の選定	2
使用教材	森林作業道づくり			(4) 森林作業道の作設方法	4
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					16

科目名	林業機械Ⅱ			指導内容	時間
コード・学科	専726	林業		1 作業システムⅡ	
学年・単位・時間	2学年	1単位	16時間	(1) 労働生産性と作業システム	4
区分等	必修科目	講義	前期	(2) 低コストに向けた作業システム	4
授業概要	複数の林業機械(高性能林業機械を含む)による作業システムの基礎とその選定、工程管理の基礎について学ぶ。			(3) 作業システムと路網配置	4
到達目標	作業システムの基本原則と生産性の考え方、素材生産現場に応じた効果的な作業システム選定の基礎及び工程管理の効果と工程表の作成方法を理解している。			(4) 作業システムの実践	4
使用教材	森林科学、森林施業プランナーテキスト改訂版、林業技術ハンドブック				
評価要素	筆記試験(レポート)、学習態度				
					16

科目名	森林管理実習Ⅱ			指導内容	時間
コード・学科	専727	林業		1 植栽実習	24
学年・単位・時間	2学年	15単位	600時間	2 森林管理	32
区分等	必修科目	実習	通期	3 苗畑実習	16
授業概要	1学年で学んだ造林、経営、機械、林産にかかる技術について、最新の技術などを取り入れ、より発展的な学習をする。			4 森林病害虫防除	40
到達目標	適切な造林と森林管理を安全に行うことができる。森林情報について、最新のICT技術などを理解している。森林作業道作設のための基礎技術などを身につける。			5 土壌調査	16
使用教材	森林施業プランナーテキスト改訂版			6 森林の多面的機能の保全	16
評価要素	出席、技能、学習態度			7 低密度植栽及び一貫作業システム	16
				8 森林資源情報の管理方法	64
				9 提案型集約化施業	56
				10 林業事業体の経営について	40
				11 技能講習	100
				12 林業機械実技	116
				13 森林作業道作設実習	24
				14 木材の流通・加工	28
				15 きのこと	4
				16 山菜栽培	8
					600

科目名	スマート農林業Ⅱ(林業)			指導内容	時間
コード・学科	専728	林業		1 林業のスマート林業概論	2
学年・単位・時間	2学年	1単位	16時間	2 スマート林業各論	2
区分等	必修科目	演習	通期	(1)GISについて	
授業概要	最新の技術を導入した林業の事例について、先進的な取り組みを意欲的に行っている林業事業体などから学ぶ。			(2)森林のレーザー測量等によるデータの活用について	
到達目標	スマート林業について、より専門的な技術習得と現場導入における効果について理解する。			(3)ドローンや新たな林業機械の活用について	
使用教材	自主教材等			3 スマート林業の実例	12
評価要素	学習態度・意欲、提出物(レポート)等			(1)GISについて	
				(2)森林のレーザー測量等によるデータの活用について	
				(3)ドローンや新たな林業機械の活用について	
					16

1 学年 教育 計画 [ 林業経営学科 ]

時期		実習内容（講義との関連）			演習内容	校外研修 (場所・内容)
月	旬	[造林・経営]	[機械]	[林産]		
		樹木、森林生態、造林・育林 I、森林計測、森林環境	労働安全管理と救命救急、 林業機械 I	林産		
4	上 中 下	測 樹	チェーンソー、刈払機の構造		・チェーンソー、刈 払機の構造及び メンテナンス ・樹高、胸高直径の 計測	
5	上 中 下	植 栽 測 量	チェーンソー、刈払機の基本操作 労働安全管理と救命救急	山菜の種類・食味	・チェーンソー、刈 払機の基本操作 ・測量基礎 ・苗木植栽技術 ・山菜の種類と食味	
6	上 中 下	林分調査 下 刈	伐木造材特別教育 刈払機安全衛生教育 伐木造材（基礎）		・林分調査の基礎 ・下刈の方法 ・伐採の基礎	
7	上 中 下	森林の分布 除 伐 病虫害防除	生産システム 小型車両系建設機械 (特別教育)		・伐採搬出システム ・森林分布 ・除伐の方法 ・病虫害の種類と 防除	
8	上 中 下	間伐設計（測量）	車両系木材搬出機械 (高性能林業機械) 特別教育		・間伐の設計 ・測量基礎（コンパ ス）	・間伐設計：測量 (真室川県有林)
9	上 中 下	間伐設計（選木） ツリークライミング講習 間伐設計（伐採）	車両系木材搬出機械 (高性能林業機械) 特別教育		・間伐（選木と伐 採） ・ツリークライミン グ	
10	上 中 下	間伐設計（伐採） 植 栽 苗畑実習	伐木造材（労働安全）	木材加工施設現地研修	・苗木の生産方法 ・苗木の植栽方法 ・高性能林業機械の 基本操作	・木材加工施設 (県外等)
11	上 中 下	枝打ち	高性能林業機械操作 伐木造材（主伐）	特用林産物生産施設学習 原木伐採 ↓ 原木きのこ栽培	・枝打ちの方法 ・間伐 ・高性能林業機械の 基本操作 ・原木伐採、植菌	・きのこ栽培施設 (最上町) ・枝打ち実習 (舟形公社造林地)
12	上 中 下		高性能林業機械操作	木材流通 木質バイオマス	・高性能林業機械の 基本操作	・木材市場、製材 所、集成材工場、 バイオマス利用施 設等（県内）
1	上 中 下	間伐設計（伐採）	はい作業従事者安全教育	製材実習	・卒業論文計画 ・冬期間伐の基礎 ・製材実習	・冬期間伐実習 (清水県営林)
2	上 中 下	間伐設計（伐採） スノートレッキング 気象害調査		広葉樹活用 炭焼き	・木炭の製造方法 ・広葉樹の活用 ・雪害調査 ・冬期伐採	・冬期間伐実習 (清水県営林)
3	上 中 下		小型移動式クレーン技能講習		・卒業論文計画発表 会	



2 学年 教育 計 画 [ 林業経営学科 ]

時期		実習内容 (講義との関連)				演習内容	校外研修 (場所・内容)
月	旬	[造林]	[機械]	[経営]	[林産]		
		森林情報、森林保護、森林機能保全、造林・育林Ⅱ	林業機械Ⅱ、森林路網	森林経営	林産		
4	上 中 下		玉掛け業務技能講習 車両系建設機械 技能講習	施業提案調査	キノコ植菌		
5	上 中 下	植栽	林業機械実習 (クランプ) 森林路網実習	施業提案書作成	原木輸送		
6	上 中 下	森林情報実習	フォークリフト 技能講習				
7	上 中 下			森林作業道 作設実習		◎卒業論文中間検 討会	
8	上 中 下	森林情報実習 下刈		林業機械による 間伐実習			
9	上 中 下			完了報告書作成			
10	上 中 下	山岳地域の森林整備 森林機能保全	伐木造材 (労働安全) 森林路網実		公共建築物 木材加工施設 現地研修		
11	上 中 下	苗畑実習 病虫害防除	高度伐木技術				
12	上 中 下					◎卒業論文発表会	
1	上 中 下						
2	上 中 下		伐木高度技術実習 (森林組合就職者)		木材利用高度技術 実習 (木材加工企 業就職者)		
3	上 中 下						